

母 娘 共にバチルス入浴ケアで脱ステロイドに成功 きれいな肌が戻った。

15歳 女性 入院 2013.1.5～2013.3.20

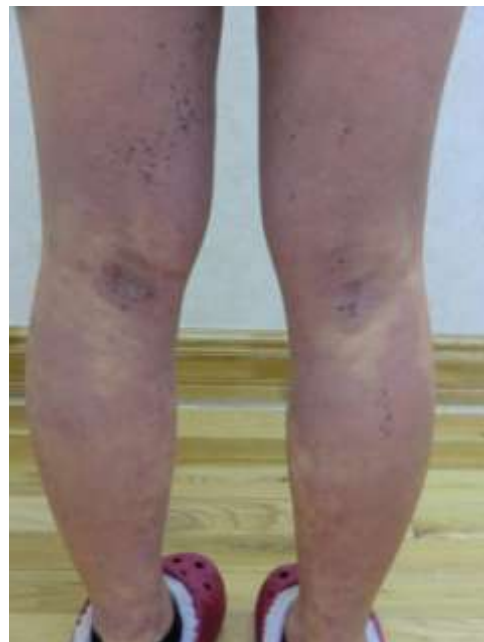
幼少児から乾燥肌であった。小学1年のとき犬を室内で飼い始めたが、翌年から皮膚炎が生じ、小学3年生からは背部に湿疹が生じた。近医にてアトピー皮膚炎の診断を受けてステロイド外用治療を開始し、2年ほどで改善した。

中学入学後から悪化し、全身性に皮膚炎が出現。アトピー専門医や小児科にてステロイド治療を受けていたが、入院の1年前、3年生になった頃から顔より下の体幹部の皮疹が悪化。ステロイドを強化したが、8月からコントロール不良となり、10月から全身に炎症が拡大。鍼灸、可視光線治療も併用したが夜間も痒みで眠れなくなり、12/27 当院受診。1/30 に高校受験を控えていたが1/5 より入院し、バチルス入浴ケアを行った。

経過 入院後、脱ステロイドのリバウンドで皮膚炎は悪化。初めての一人暮らし、受験生としてのプレッシャーもあり2週間は毎日泣いてばかりだったが、皮膚炎が軽減するにつれ次第に明るさを取り戻していった。入院中に受験も済ませ、4月からは自宅通学しながら、毎日バチルス入浴ケアをお母さんと一緒に行っている。TARC まだは正常値以上だが、入院時の20分の1になっており、肌はすべすべである。

	基準値範囲	2012/12/27	2013/1/25	2013/2/21	2013/3/19	2013/6/8	2013/10/5	13/11/16	14/6/21
TARC	450 以下	63481	27390↓	9273↓	3980↓	4055↓	3012↓	1154	773
LDH	120～245	659	495↓	333↓	318	332	243↓	200	191
IgE	170 以下	48803	49319	37855↓	26394↓	27456↓	22069↓	22523	16658
好酸球	7%以下	19.0	18.0	32.0	29.0↓	17.8↓	16.0↓	6.6	9.8





2013.1.05



2013.11.16



母 44 歳 入院ではなく自宅で 2 か月半休職療養

30 代、第二子出産後から湿疹があり時々ステロイド外用使用。2000 年より首から下の全身に湿疹が生じるようになり、アトピーの子供さんと同じ。弱いステロイド軟膏を使用していた。

しかし、コントロールできず、夏は汗によって非常に悪化、冬は乾燥でそう痒が悪化する事を繰り返していた。

娘さんの付き添いとして 2012.12.27 当院受診。脱ステロイド療法を開始したが、リバウンドで皮膚炎悪化。

2/14 から職場を休職して自宅にてバチルス入浴ケアを開始。ヘルペス感染なども合併し、一時は家事すらできなくなったが次第に改善。

2 ヶ月半後に職場復帰できた。長年のステロイド使用を離脱できたと共に、アトピー性皮膚炎のコントロールが達成できた。

娘さんは当院での入院治療、お母さんは自宅でバチルス入浴ケアを開始し、二人とも皮膚はほとんど普通肌になりました。

	基準値範囲	2013/12/27	2013/2/2	2013/3/8	2013/4/13	2013/6/8	2013/10/5	2014/6/21
TARC	450 以下	2078	3899	11000 ↑	10032	3718 ↓	654 ↓	380
LDH	120~245	264	274	416 ↑	361 ↓	346 ↓	192 ↓	184
IgE	170 以下	1865	2075	3076 ↑	8860 ↑	8571	5253 ↓	1815
好酸球	7%以下	2.8	14.0	27.0 ↑	20.0 ↓	13.4 ↓	5.6 ↓	5.5
POEM 自覚症	最重症 20~28	16	16	18 ↑	21	20	1 ↓	0

